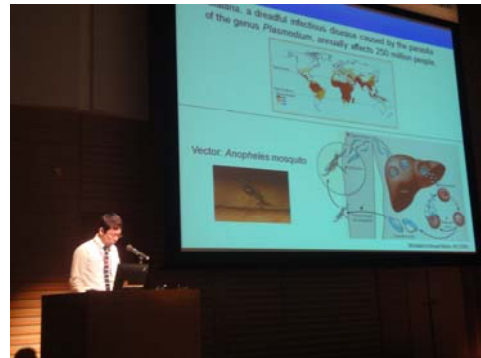


The 4th International RIMD-CVRDC Joint Symposium



2010年6月17日(木)・18日(金)、大阪大学微生物病研究所・同グローバルCOEプログラム「オルガネラネットワーク医学創成プログラム」・韓国チョンナム大学 CVRDC (Clinical Vaccine R&D Center)の主催により、The 4th International RIMD-CVRDC Joint Symposiumが岡山コンベンションセンターにて開催された。この合同シンポジウムは2006年チョンナム大学 CVRDC 所長 Joon Haeng Rhee 教授の呼びか

けにより始まり、毎年交替で開催してきたが、今回より2年ごとの開催と決まった。今年度は、韓国側から33名、微研から28名の参加があった。17日の阪大微生物病研究会(微研財団)観音寺研究所の見学では奥野所長による研究所紹介のあと、全員が白衣と帽子を身につけてワクチン工場見学をした。少し離れた広大な敷地には、現在新研究所が建設中であり微研財団のますますの発展が楽しみである。



翌日のシンポジウムでは大学院生・ポスドクの若手研究者の発表を中心としたプログラムを組み、堀井俊宏教授と吉森保教授に特別講演をお願いした。ポスターセッションでは37題の参加があり討論で盛り上がっていた。英語での口頭発表が初めての演者も多く、皆緊張していたが発表自体は練習の成果あって問題なかったが、やはり質疑応答となるとうまくいかない場面も多く見られ課題が残った。しかし若手研究者には外国の研究者と討論する非常に良い機会となったと思われる。これからもどんどんこのような機会を利用して発言し、討論する能力を培ってもらいたい。次回は2年後に韓国にて開催される予定である。

(文責：感染症学免疫学融合プログラム推進室 准教授 村上良子)

